

モットー「楽しき中にも規律あり」 トップより先に歩かない。間隔を開けない。アンカーより後にならない。

2009年4月3日

一般組 各位

松愛会 兵庫歩こう会

第153回例会 「能勢街道 I」ご案内

能勢街道として本格的に整備されたのは江戸時代の始めと云われています。中国街道と分岐する中津付近を起点に、豊中・池田・能勢を経て京都の亀岡へ抜ける幹線道路でした。沢山の人や物資が往来し、能勢妙見山の参拝道としても賑わいました。街道筋には、道案内の道標や交通安全を願う地蔵が建っています。最終は府界まで予定していますが、今回は梅田(中津)から豊中の岡町の原田神社までです。

記

集合日時：2009年5月19日(火) 10時00分 受付開始：9時30分

集合場所：阪急電車 「梅田駅」中央改札口(2F)下

紀伊国屋書店 テレビモニター(ビッグマン)前(1F)

雨天対応：気象庁のホームページ(URL:<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)またはNTTの天気予報(06+177)で、大阪府の例会前日17時発表、翌日06-12時、12-18時のいずれかの降水確率が50%以上の時は中止とします。

コース：梅田駅(0m)～道標(能勢街道起点)～淀川堤防～十三大橋北詰(0m)～能勢街道踏切～三国橋南詰(2m)～天竺川堤防～R176稲津町交差点～服部天神宮(4m)～原田神社(阪急岡町駅)(23m)

Aコース 距離:11.6km、時間:4h55min、標高差:23m、難易度★★

Bコース 服部天神宮まで 距離:9.2km、時間:4h15min

ワンポイント：すべて舗装道路です。町歩きウォーキング・シューズが脚への負担が少ないかも！

服装：長袖シャツ、長ズボン、手袋、帽子、歩きやすい靴

持参物：弁当、飲料水、敷物、タオル、雨具

費用：500円(参加費)。

保険：歩こう会で発生した事故については会として一切責任は負えません。各自の責任のもとに対応をお考えください。万一のことを考えまして団体傷害保険には加入しています。

電車案内：阪急電車 ご注意：電車を降りてから集合場所まで3分程度かかります。余裕をもってお集まりください。

	宝塚線				神戸線		
	宝塚	川西能勢口	梅田		三宮	西宮北口	梅田
急行	8:46	9:00	9:24	通特	8:59	9:14	9:29
急行	8:58	9:12	9:35	通特	9:09	9:25	9:39

連絡事項：途中からの参加、途中からの帰宅はお断りします。

みどころ：ホームページ URL <http://myippo.com/kaidou/nose/nose1/nose1.htm> も参考にしてください

十三大橋：中津と十三を結ぶ、全長681.2mの橋。十三という地名の由来は諸説があるが、淀川の渡しの中で上流から数えて13番目だったとする説が有力である。

三国橋：神崎川に初めて架けられた橋で、明治から今日に至るまで幾度となく修繕された。この地にあった「三国の渡しは」南北朝時代の軍記物語『太平記』に合戦の舞台として記されている。

天竺川：千里丘陵から神崎川に注ぐ、典型的な天上川。川が氾濫する度に土手を重ねたため、周囲の土地よりも川底の方が高くなっている。

服部天神宮：医薬の祖神「少彦名命(すくなひこなのみこと)」を祀り、菅原道真公が太宰府に下る際に足の病を治したという故事がある。以来「足の神様」として、スポーツ選手など健脚を願う多くの人々が参拝に訪れる。昭和26(1951)年には「おあし=お金の神」につながるとして、境内に豊中えびす神社を祀った。

原田神社：創建は飛鳥時代とされ、中世まで72ヶ村の総氏神であったと伝えられる。また、本殿は重要文化財に指定されている。

毎年10月には、豊中市の代表的な祭事の一つである獅子神事祭で賑わう。広い境内ではゆったりと休憩できる。

参加は自由です。現地で参加の受付をします。初めての方もご参加ください。

【問合せ先】 甲斐、大下